

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【公開番号】特開2011-177540(P2011-177540A)

【公開日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2011-037

【出願番号】特願2011-109383(P2011-109383)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示する可変表示部を備え、前記可変表示部における識別情報の表示結果があらかじめ定められた特定表示結果となつたときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であつて、

前記特定表示結果とするか否かを、識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果にもとづいて、予め定められた順番に従つて1段階目の演出から複数段階目の演出までの複数の演出を段階的に行う予告演出であつて、前記特定表示結果とする場合は該特定表示結果としない場合よりも高い割合で予め定められた段階目の演出まで演出が行われるステップアップ予告演出を決定する予告演出決定手段と、

前記予告演出決定手段により決定された前記ステップアップ予告演出を実行する予告演出実行手段とを備え、

前記予告演出決定手段は、

前記ステップアップ予告演出として、該ステップアップ予告演出における複数の演出の態様が第1の態様である第1ステップアップ予告演出を決定する第1ステップアップ予告演出決定手段と、

前記ステップアップ予告演出として、該ステップアップ予告演出における複数の演出の態様が前記第1の態様と異なる第2の態様である第2ステップアップ予告演出を決定する第2ステップアップ予告演出決定手段とを含み、

前記第1ステップアップ予告演出は、段階的に変化する第1予告演出、第2予告演出および第3予告演出を含む少なくとも3段階以上の予告演出を実行可能な通常ステップアップ予告演出と、該通常ステップアップ予告演出が実行されている途中の段階で次段階の予告演出に変化させずに、前記通常ステップアップ予告演出に含まれる前記予告演出とは異なる別系統の予告演出を実行する分岐ステップアップ予告演出とを含み、

前記予告演出実行手段は、前記分岐ステップアップ予告演出を実行するときには前記通常ステップアップ予告演出における所定の予告演出が実行されている途中のタイミングにおいて前記別系統の予告演出を開始させ、

前記予告演出実行手段は、前記ステップアップ予告演出として前記第1ステップアップ予告演出と前記第2ステップアップ予告演出とを可変表示中の同一期間に同時に実行可能

であり、

前記第1ステップアップ予告演出と前記第2ステップアップ予告演出とで前記特定表示結果となる場合に予め定められた段階目の演出まで演出が行われる割合が異なり、

前記予告決定手段は、実行する予告演出として、小サイズキャラクタ画像を表示することによるキャラクタ予告演出を前記ステップアップ予告演出よりも高い割合で決定することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

(手段1) 本発明による遊技機は、各々を識別可能な複数種類の識別情報(例えば、演出図柄)を可変表示する可変表示部(演出表示装置9)を備え、可変表示部における識別情報の表示結果があらかじめ定められた特定表示結果(例えば、大当たり図柄)となったときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態(例えば、大当たり遊技状態)に制御する遊技機であって、特定表示結果とするか否かを、識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるステップS61の処理を実行する部分)と、事前決定手段の決定結果にもとづいて、予め定められた順番に従って1段階目の演出から複数段階目の演出までの複数の演出を段階的に行う予告演出であって、特定表示結果とする場合は該特定表示結果としない場合よりも高い割合で予め定められた段階目の演出まで演出が行われるステップアップ予告演出を決定する予告演出決定手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS517の予告演出設定処理を実行する部分)と、予告演出決定手段により決定されたステップアップ予告演出を実行する予告演出実行手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS846～S855の処理を実行する部分)とを備え、予告演出決定手段は、ステップアップ予告演出として、該ステップアップ予告演出における複数の演出の態様が第1の態様である第1ステップアップ予告演出を決定する第1ステップアップ予告演出決定手段と、ステップアップ予告演出として、該ステップアップ予告演出における複数の演出の態様が第1の態様と異なる第2の態様である第2ステップアップ予告演出を決定する第2ステップアップ予告演出決定手段とを含み、第1ステップアップ予告演出は、段階的に変化する第1予告演出(例えば予告演出A)、第2予告演出(例えば予告演出B)および第3予告演出(例えば予告演出C)を含む少なくとも3段階以上の予告演出を実行可能な通常ステップアップ予告演出(例えば、図70に示すメインステップアップ)と、該通常ステップアップ予告演出が実行されている途中の段階で次段階の予告演出(例えば予告演出Bまたは予告演出C)に変化させずに、通常ステップアップ予告演出に含まれる予告演出とは異なる別系統の予告演出(例えば、予告演出Eまたは予告演出G)を実行する分岐ステップアップ予告演出(例えば、図71に示す第1分岐ステップアップまたは図72、図73に示す第2分岐ステップアップ)とを含み、予告演出実行手段は、分岐ステップアップ予告演出を実行するときには通常ステップアップ予告演出における所定の予告演出(例えば、予告演出Aまたは予告演出B)が実行されている途中のタイミングにおいて別系統の予告演出(例えば、予告演出Eまたは予告演出G)を開始させ(例えば、図75や図101に示すように、第2分岐ステップアップにおける予告演出Gは、メインステップアップにおける予告演出Bが実行されている途中で分岐する。なお、図74や図101に示すように、第1分岐ステップアップにおける予告演出Eは、メインステップアップにおける予告演出Aから予告演出Bに変化するタイミングと同期して予告演出Aから分岐しているが、予告演出Aが実行されている途中で分岐するように構成されていてもよい。)、予告演出実行手段は、ステップアップ予告演出として第1ステップアップ予告演出と第2ステップアップ予告演出とを可変表示中の同一期間に同時に実行可能であり、第1ステップアップ予告演出と第2ステップアップ予告演出とで特定表示結果となる場

合に予め定められた段階目の演出まで演出が行われる割合が異なり、予告決定手段は、実行する予告演出として、小サイズキャラクタ画像を表示することによるキャラクタ予告演出をステップアップ予告演出よりも高い割合で決定することを特徴とする。

そのような遊技機によれば、ステップアップ予告演出が分岐するため、ステップアップ予告演出にバリエーション（多様性）を持たせることができ、遊技の興趣の向上を図ることができる。また、遊技者はメインステップアップ予告演出における第2予告演出の実行中に次の第3予告演出への移行を期待するだけでなく分岐ステップアップにおける別系統の予告演出への移行（分岐）も期待することができ、より一層の興趣の向上を図ることができる。